

# 2022年第69回春季学術講演会 シンポジウム 可視光からX線によるイメージング —その汎用性の探求—

Imaging by using from visible light to X-rays  
— Exploring its versatility—

日時：2022年3月22日(火) 9:30 ~ 16:30 (予定)

可視光やX線による実験手法の急速な発展・拡大により、空間分解したイメージング測定が汎用的なものとなりつつあります。物質科学・材料科学においては、物質の空間平均した状態(電子状態、元素分布、相構造)だけでなく、その局所的な状態が大いに研究されるようになってきています。測定を期待されるものには、レーザー照射による磁区の変化、触媒表面の化学反応、電子の動作などの機能材料や、高分子や鉄鋼材料などの構造材料の機械特性発現などと範囲が極めて大きくなっています。

空間情報を得ることにより、物質・材料中の状態の不均一性が可視化されます。そして、平均情報では得られない知見を得ることにより、現在頭打ちの性能指数にブレークスルーをもたらすことが期待されます。本シンポジウムでは、X線、レーザーを用いた基礎研究と、これらの商品化・汎用装置化などの応用研究の双方の立場から最新の話題をご紹介します。今後の光機能に関する新しい物質科学に向けた議論の場としたいと考えています。

- ・齋藤広大(ナノフoton) ラマンイメージングの最前線
- ・大森崇史(株)島津製作所  
実験室系X線分光装置を用いた化学状態分析の活用事例
- ・大垣智巳(キヤノンマーケティングジャパン(株))  
ラボ用X線吸収分光装置について
- ・佐藤龍(日鉄テクノロジー(株))  
SAICASの斜め切削機能を活用した薄膜のイメージング
- ・中西洋平(京都大学)  
軟・テンダーX線を用いたポリオレフィン材料の構造解析
- ・飯浜賢志(東北大学) 超短光パルス照射下での磁気イメージング
- ・永村直佳(NIMS) XPSによるイメージング
- ・阿保智(大阪大学) ポータブルX線・中性子源

**一般講演を数件募集します！**

世話人：和達大樹(兵庫県立大)、豊田智史(東北大)  
連絡先：wadati@sci.u-hyogo.ac.jp